

MEGASTAR 星空演出サービス御紹介資料

さまざまなイベントやリラクゼーションに、そして結婚式などの大切なひと時に。
壮大な星空が頭上いっぱい広がったら、どうでしょうか？

大平技研がプロデュースする、可搬型プラネタリウム「MEGASTAR出張上映サービス」は、世界で最も先進的なプラネタリウム「MEGASTAR-Ⅱ」を使って、あらゆる場所に星空をお届けします。

1. MEGASTAR 星空演出の特長

- ・ドーム状の施設なしに、任意の部屋に星空を投影することが可能です。
- ・星空の下での様々な催事(コンサート、リラクゼーション、結婚式、その他)が可能です。
- ・高輝度型投影装置により、従来のプラネタリウムでは難しかった、広い部屋や、光のある環境でも星空を演出することが可能です。

・サービスと機材紹介

1. メガスターⅡ 可動タイプによる星空演出

全天球に星空を投影可能なMEGASTAR-Ⅱ（可動タイプ）を使用し、500万個から1000万個にも及ぶ無数の星による、満天の降るような星空の演出、そして時間の変化による星空の移り変わり、北極から南極までさまざまな土地から見える星空を演出します。美しい星空に加え、星が動くときはまるで宇宙旅行をしているようなダイナミックな移動感を体験できます。



2. メガスターⅡ 固定タイプによる星空演出

簡易に使用可能なMEGASTAR-Ⅱ（固定タイプ）を使用し、満天の降るような星空の演出を行います。但し星の動きは再現することができません。星空は、機器の構造上、南極点もしくは北極点から見た星空となります。



2.環境条件

1)会場の広さ

星空を、壁や天井に直接映し出す場合、縦横(W,H)は、最大で30m程まで。高さは、15mほどが上限となります。

(壁の色や状態、上映中の散乱光の有無や強さにより異なります)

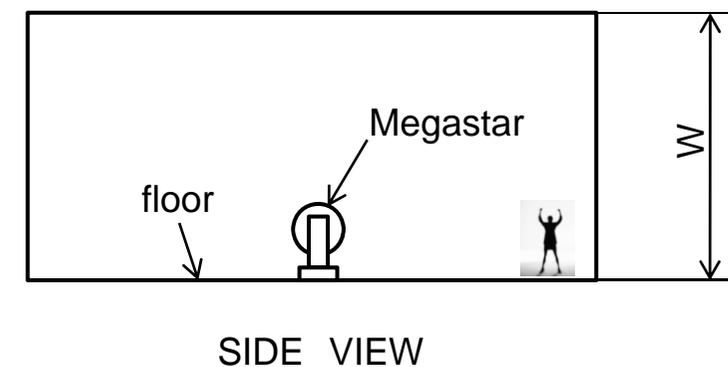
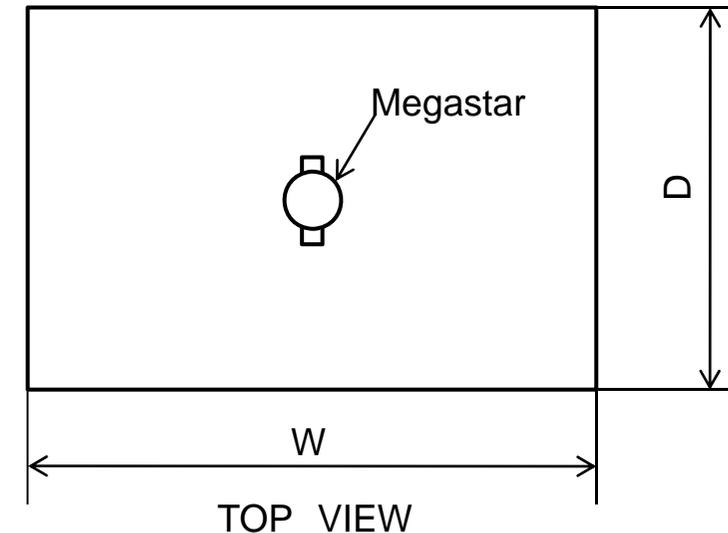
※右図を参照下さい

2)壁や天井の状態

白、もしくはなるべく明るい色のほうが良く映ります。特殊な塗装やスクリーンは必要ありません。ガラス面や金属光沢のある面にはあまり良く映りません。

照明器具(シャンデリア等)は、星空の投影を妨げるので無いことが望ましいですが、ある程度あっても演出上差しつかえない場合もあります。

スタジオや舞台等でCAT WALKや舞台照明装置が並んでいるような状態では星空はあまり良く映りません。



2.環境条件(続き)

3)その他必要事項

電源をご用意下さい。AC100V、15A(可動タイプ)、10A(固定タイプ)が必要です。

会場は真っ暗にしてください。照明はもちろん、外から漏れる光(夜間でも、街灯の光が影響するレベルです)や、パソコン画面、その他電子機器から出る光も星空の演出に影響します。また、非常灯設備がある場合、非常灯の光が星空に強く影響しますので、何らかの方法で遮光する必要があります。昼間の場合、暗幕があっても、暗幕の隙間から洩れる光が影響しますので、暗幕が壁にしっかり固定されて光漏れの無いように処置されていることが必要です。

MEGASTARを設置する際に、スタンド(設置台)等が必要になる場合があります。

※詳細はお打ち合わせとなります。

MEGASTAR-II は、可動タイプの重量が45kg、固定タイプは15kgほどです。

・事例紹介1(リビエラ東京)

池袋にある挙式施設(リビエラ東京)で、クリスマスの夜に幻想的な星空が現れました。チャペルの中心に設置されたMegastar-Ⅱ可動タイプによって天井と壁いっぱいに映し出された星空に来場者は息をのむような感動を体験しました。



・事例紹介2(東宝シネマズ六本木ヒルズ)

六本木にある劇場「東宝シネマズ六本木ヒルズ」で、アポロ月着陸40周年を記念して制作されたドキュメンタリー映画「The Moon」が公開されました。
その初公開の映画紹介の際に、劇場に設置されたMegastarから放たれた光が、スクリーンのみならず劇場の壁や天井まで、観客を包むような星空を出現、観客を驚きと感動の世界にいざないました。

